

## II 調査結果の詳細

# 1. アメリカ合衆国における支援の実際

国立大学法人 宮城教育大学  
特別支援教育講座・『しょうがい学生支援室』  
准教授 松崎 丈

## (1) はじめに

うアメリカ合衆国（以下，米国）における障害学生支援の特色は，障害者教育法（Individuals with Disabilities Education Act）と ADA（Americans with Disabilities Act）による法的整備を背景に高等教育におけるしょうがい学生支援が先駆的に行われており，諸外国の中でも非常に長い歴史と優れた業績を有しているといえる．特に，聴覚障害学生支援においては，PEPNet（米国聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク），PEN-International（聴覚障害者のための国際大学連合）のように国内外の聴覚障害学生支援の水準を向上させるために大学間のネットワーク事業を推進していることで注目されている．

そこで，聴覚障害学生を対象とした高大連携の事例を主な視察対象とし，表1のように先進的な取組を行っている大学，聾学校，コミュニティセンターを視察した．

表1 視察スケジュール

日程	場所	視察先機関
2月16日	カリフォルニア州 フリーモント市	オーロニ大学 (Ohlone College)
2月17日		
2月18日		
2月19日	同上	カリフォルニア州立フリーモント聾学校 (California School for the Deaf, Fremont)
2月22日	カリフォルニア州 ロサンゼルス郡	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 (California State University, Northridge)
2月23日	同上	公立マールトン学校 (Marlton School, Los Angeles) ロサンゼルスろうコミュニティセンター (Greater Los Angeles Agency on Deafness)